

2020年 4月21日

助成事業実施報告書

団体名 たちかわ・財政を考える会

代表者・役職名 氏名 会長 増田 正三郎

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「たちかわ市民財政白書第2弾」最新版資料編作成と「たちかわ・財政学習会」の発展的継続開催

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

「たちかわ市民交流大学」の企画した「市民企画講座」として、平成25年3月から10回の財政講座を、また、平成26年6月に「財政講演会」を開催しました。この講座の参加メンバーを中心に、平成26年4月に「市民による財政白書づくり」を目指す「たちかわ・財政を考える会」を設立し、「立川市社会教育団体」に登録・承認されました。会員数は23名です。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

これまで重ねてきた「財政講座での学習」、「財政白書づくり」、「財政学習会」を経て「立川市における行財政運営の現状」を明らかにし、将来に向けて住民にとってより良い行政経営のあり方に導くため、全市民的議論が行えるよう「学習会開催」のみならず、多くの市民の持つ良識が結集できるような仕組みづくりを創造するとともに、直接行政・議会運営に参画する仕組みを創設することが目的です。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. 「たちかわ市民財政白書第2弾」をテキストとした「財政学習会」の継続開催と、既発行の資料集に最新年度の数値を載せた「改定資料集」を発行します。(1)学習会定例開催:市民財政白書第2弾執筆者を講師とした討論会方式。4月、7月、9月、11月、12月、1月の計6回開催。(2)立川市財政出前講座①2019年度予算(6月)②2018年度決算(10月)③市民企画財政講座:市民交流大学主催(2月)
2. 一般社団法人財政デザイン研究所と連携した「立川市の財政状況分析」と立川市内中学校生徒への主権者教育を意識した「やさしい財政教育読本づくり」と正課授業実施に向けた活動への協力を行います。
3. 行政・議会への「市民参加推進」への働きかけを継続し、着実な一歩を踏み出します。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

1. 財政学習会開催: 9回、参加者数100人、「たちかわ市民白書(第3弾)“:市民からみたまちづくりと財政”」400部発刊(2020年3月)、立川市財政出前講座(6月、10月)開催。市民企画財政講座開催(2月)
2. 立川市教育委員会、校長会を通じて、市内全中学校への「授業開催」提案実施の結果立川市、第八中学校での3月10日授業決定。(新型ウィルスにより明年へ順延)
3. 会の意向に賛同くださった市議会議員と具体的に議会本会議での質問内容の「議会議事録」を基に行政の情報開示を進める体制実働に着手出来ました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロジェクトへの参加者を拡大し、市民の有する経験・智慧を行財政活動に活かすべく、主権者としての市民・住民の自覚を促し、自らの責任として行財政活動に様々な形で参画していただける仕組みを構築していきます。2. 数年に一度しか行われぬ、それも形骸的な選挙を通じてのみの消極的な主権者権利の行使から、市議会を通じた「行政権への参画」すなわち自らの責任を自覚した行財政活動への参画を実現していきます。 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし

たちかわ市民財政白書(第3弾)

**市民からみた
まちづくりと財政**



2020年3月

たちかわ・財政を考える会

おわりに

本白書は、とくに財政の専門知識をもたない一般市民の手によるものです。したがって「白書」の形になっていなかったり、記述に不統一のところがああります。また、理解不足や誤解もあるかもしれませんが、問題意識をもって取り組みました。

また、市内の各分野の方々にインタビューをお願いして、その内容を掲載させていただきました。

お読みいただいた皆さんから、お気づきのことをご指摘いただければ大変にありがとうございます。

今回も真如苑の「市民活動公募助成（Shinjo プロジェクト）」をうけて発行することができました。

これからも、地道に学習活動などを継続していきたいと考えています。

たちかわ市民財政白書（第3弾）
市民からみた まちづくりと財政

2020年3月1日発行

企画・編集・発行：たちかわ・財政を考える会

会長：増田 正三郎

連絡先：加藤 寛治（事務局）

Eメールアドレス：tatikawa.zaisei@jcom.zap.ne.jp

【2019年度】

「たちかわ・市民財政学習会」

～身近な所から財政問題を考えてみよう～

主催：たちかわ・財政を考える会 協賛：たちかわ市民みらい会議

「たちかわ・財政を考える会」では、住みよいまちづくりを目指して、市民目線でわがまちの税金の使いみちについて知り、共に考えるために、市民の手による学習会を開催します。

この学習会は、市民と議員さらに自治体職員が、財政を中心とした基本的な知識・情報を共有し、議論できる場にしていきたいと考えています。

どなたでもお気軽にご参加ください。

【学習テーマ・日時・会場】

回	学習テーマ(予定)	日時(未定)	会場(未定)
1	・立川市の防災体制 など ・意見交換	2019.4.28(日) 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
2	・2019年度立川市予算を知る(立川市出前講座) ・意見交換	2019.6.15(土) 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
3	・障がい者差別解消の取組み・立川市のまちの姿 ・意見交換	2019.7.20(土) 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
4	・人口構造の激変と福祉・社会保障の危機 など ・意見交換	2019.8.24(土) 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
5	・中学生のためのやさしい財政のはなし(立川編) ・意見交換	2019.9.22(日) 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
6	・2018年度立川市決算を知る(立川市出前講座) ・意見交換	2019.10.26(土) 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第1学習室
7	・立川市の子育ち・子育て支援 など ・意見交換	2019.11.23(土) 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
8	・顕在化する「空き家」問題 など ・意見交換	2019.12.21(土) 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室
9	・議会の果たすべき役割について など ・意見交換	2020.1.26(日) 13:30～15:30	女性総合センター・アイム 5階・第2学習室

[2019年度 真如苑助成事業]

注) 学習テーマは変更する場合があります。未定の日時・会場は順次連絡します。

◎ テキスト：「たちかわ市民財政白書(市民からみた立川市の財政・まちづくり)」など

◎ 参加費：500円(テキスト代)。テキストをお持ちの方は無料。

◎ 問合せ・申込先：Eメール：tatikawa.zaisei@sirius.ocn.ne.jp

URL：<http://tatikawazaisei.jimdo.com/>

【活動の記録】

1. プロローグ

- ① 立川市財政講座・講演会に参加（たちかわ市民交流大学・市民推進委員会主催）
 - ・講座「我がまち立川市の財政を学ぼう!!」（2013年3月）
 - ・講座「我がまち立川市の財政講座（9回）」（2013年5～11月）
 - ・講演会「我がまち立川市の財政を共に考える」（2014年6月）
- ② 「たちかわ・財政を考える会」発足〔21名〕（2014年4月1日）
- ③ 立川市財政課出前講座（勉強会）
 - ・平成26年度予算概要（2014年3月）
 - ・立川市の財政書類を読む（2014年8月）
 - ・平成25年度決算カードを読む，決算の概要を知る（2014年10月）
 - ・平成27年度経営方針を知る，予算編成方針を知る（2015年3月）
- ④ 第30回三多摩自治体学校 in 府中に参加
 - ・「記念講演・シンポジウム・市民財政白書から読み解く」（2014年11月）
 - ・「分科会：市民財政白書交流会」で初の発表を実施（2014年12月）
- ⑤ 定例会（15回）（2014年3月～2015年11月）
 - ・会の方針・運営などについて、審議・情報共有を実施
 - ・白書作成が始まった平成27年2月以降は毎月1回実施
- ⑥ 財政白書・数値編作成「集中作業（5回）」（2015年3～4月）
 - ・立川市および関連市の平成16～25年度の決算状況について、決算カードをもとに数値編を作成
- ⑦ パソコン勉強会「白書作成のために（3回）」（2015年5月）
 - ・白書作成に必要なパソコンの各機能（エクセル・グラフ作成など）について、勉強会を実施
- ⑧ 共同編集会議（9回）（2015年5月～9月）
 - ・各自で作成した原稿について、読み合わせレビューを実施

2. 「たちかわ市民財政白書」の発行

- ① 「たちかわ市民財政白書（第1弾）」発行（2015年12月）
 - ・完成発表会をアイム・第3学習室で開催（2015年12月7日）
- ② 「自治・政策・財政 市民ハンドブック」，「資料編」発行（2017年3月）
 - ・財政学習会の内容などを反映して「たちかわ市民財政白書（第1弾）」に、自治・政策関連と各種財政資料を追加・補充して作成・発行
- ③ 「市民ハンドブック」，「資料編」の（追加版）発行（2017年7月）
 - ・『政策実現の「条例」はどのように制定されるか』をテーマに作成・発行
- ④ 「たちかわ市民財政白書（第2弾）」発行（2018年3月）
 - ・「たちかわ市民財政白書（第1弾）」発行後、継続して開催した「たちかわ・市民財政学習会」などの活動を反映して作成・発行

3. 「たちかわ・市民財政学習会」の開催

- ① たちかわ・市民財政学習会（40回）（2016年4月～2020年1月）
 - ・一般市民を対象に「たちかわ市民財政白書」などを教材に実施
 - ・開催年度・回数：
 - ・2016年度（9回）
 - ・2017年度（8回）
 - ・2018年度（14回）
 - ・2019年度（9回）

4. 刊行物の紹介

その1 『市民からみた立川市の財政』(たちかわ市民財政白書) A4判 79頁・頒価 500円

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 第1章 立川市はどんなまち | 第2章 財政をよりよく理解するために |
| 第3章 歳出の状況-政策実現の経費- | 第4章 歳入の状況-財源の確保- |
| 第5章 お金のやり繰り | 第6章 財政運営の実績 |
| 第7章 市民が望む財政運営(提言) | *インタビュー ・私のひとこと |



その2 『なっとく自治・政策・財政 市民ハンドブック』 A5判 83頁・頒価 500円

- 第1章 自治体をめぐる環境にどのような変化が起きているか
- 第2章 自治体はどのような性格と権能をもっているか
- 第3章 自治体の行政サービスはどのようにして提供されるか
- 第4章 税はどのように集められ、どのような形で使われるか
- 第5章 予算はどのような仕組みになっているか
- 第6章 決算はどのように集計・分析・評価されるか
- 終章 市民負担に目をむけよう ・財政用語集(市区町村関係)



その3 『たちかわ市民財政白書資料集』(本編・別冊) A4判本編 116頁・別冊 59頁・非売品

1. 自治体(東京都市人口・面積、全国市町村数の推移、税の体系など)
2. 人口構造(国勢調査結果、将来推計人口、平均寿命など)
3. 社会保障(給付費、財源、所得、貧困率など)
4. 地方財政(立川市、東京都市町村、全国市町村、東京都財政など)
5. 国財政 6. 個別施策(国保・介護保険など) 7. 決算カードの記載事項
8. 決算カード(立川市、類似団体、武蔵野市、夕張市、三沢市、六ヶ所村など)
9. 立川市類似団体カード



その4 なっとく自治・政策・財政市民ハンドブック(追加版)

『政策実現の「条例」はどのようにして制定されるか』

A5判 13頁・頒価 100円

政策を実現するためには「財政」とともに「条例」が不可欠であり、両者が密接に関連することからハンドブックに即して1章分を追加。条例にかんする基本的知識を簡潔にまとめる。

その5 『たちかわ市民財政白書資料集(追加版)』

A4判 64頁・非売品

1. 平成27年度決算カード(東京26市ほか)
2. 平成27年度東京都決算
3. 国決算の推移
4. 日本の将来推計人口(平成29年4月推計)
5. 完全生命表

その6 『市民からみた立川市の財政・まちづくり(たちかわ市民財政白書第2弾)』

A4判 80頁・頒価 500円

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 立川市のまちの姿 | 2. 経費のかけ方(歳出の状況) |
| 3. 財源のかたち(歳入の状況) | 4. 財政運営の事績 |
| 5. 立川市の子育ち・子育て支援 | 6. 障がい者差別解消の取り組み |
| 7. 持続可能な介護保険制度へ | 8. 立川市の防災体制 |
| 9. 見直しを迫られる立川市民バス | 10. 公共施設の老朽化対策 |
| 11. 政務活動費と議員報酬 | [特別寄稿] 循環社会へのごみ処理法 |
| * インタビュー ・私のひとこと | |